

## 欧州環境インサイト ニュースメール

EBS ニュースメール 2012 年 7 月号

「欧州環境インサイト」ニュースメール 2012 年 7 月号をお送り申し上げます。皆様のビジネスにとって何らかのお役に立てれば幸いに存じます。

----- ヘッドライン -----

- [独セントロソーラー、仏 190 世帯にソーラーパネルを供給](#)
- [アクシオナ、南アで 50MW の太陽熱発電所を建設](#)
- [ガメサ、メキシコで 74MW の風力発電施設を完成](#)
- [ベスタス、ベルギーの洋上風力発電所に 216MW の風力タービン供給](#)
- [EU の再生可能エネルギーの割合、2010 年は 12.4%](#)
- [NEDO、ウクライナと省エネ 4 案件を実施](#)
- [経済大国のエネルギー効率化ランキング、英国が 1 位に](#)
- [三菱重工、ノルウェーで CCS 実証試験受注](#)
- [2014 年の欧州環境首都、コペンハーゲンに決定](#)
- [欧州委、スマートシティー支援を拡充](#)

--- ニュース -----

(太陽光:ドイツ、フランス)

独セントロソーラー、仏 190 世帯にソーラーパネルを供給

ドイツで太陽電池モジュールを手掛ける独セントロソーラー(Centrosolar)は 6 月 28 日、フランス電力公社(EDF)傘下の EDF オプティマル・ソリューションズに、総容量 3.7MW の屋根材一体型ソーラーパネルを供給すると発表した。仏北部セーヌ＝マリティーム県内の 190 世帯に設置するためのもので、約 1 万 9,000 個の太陽電池モジュールが登用される。ソーラーパネルの設置は 2 月末に開始されており、2013 年 6 月までに全世帯への設置が完了する見通し。設置総面積は 3,388 平方メートルに及び、完成後の年間発電量は 385kWh が見込まれている。フランスでは屋根材一体型のソーラーパネルに優遇措置が適用されている。

ニュースリリース:

<http://www.centrosolar-group.de/en/press/current/press-release/article/centrosolar-realisiert-zusammen-mit-edf-pv-grossprojekt-in-frankreich/>

(太陽熱:スペイン)

アクシオナ、南アで 50MW の太陽熱発電所を建設

スペインのインフラ企業アクシオナは 6 月 28 日、同社が参加するコンソーシアムが南アフリカの北ケープ州アピントン (Upington) 近郊のカラハリ砂漠に 50MW の太陽熱発電所「Bokpoort」を建設すると発表した。コンソーシアムを主導するのはサウジアラビアの独立系発電事業者 Acwa パワーで、アクシオナのほか、南アフリカの開発会社 Crowie、スペインの大手エンジニアリング・建設企業セネル、ドイツの電気部品企業 TSK が参加している。プロジェクトの総工費は 3 億ユーロ。工期は 30 カ月間が予定されている。アクシオナは 5 月にも、南アフリカのインフラ企業アベング (Aveng) と共同で、同国における再生可能エネルギーのプロジェクト 2 件を落札。南アフリカ西ケープ州のドレーケンスタイン (Drakenstein) に風力発電施設を、北ケープ州ディベン (Dibeng) には太陽光発電施設を建設・運営することが決まっている。

ニュースリリース:

<http://www.acciona.com/news/acciona-in-a-consortium-with-other-companies-will-build-a-solar-thermal-plant-near-the-kalahari-desert>

(風力:スペイン、イタリア)

ガメサ、メキシコで 74MW の風力発電施設を完成

スペインの風力タービン製造大手ガメサは 7 月 9 日、メキシコ南西部オアハカ州の南東テワンテペック地峡で建設を進めていた設備容量 74MW の風力発電施設「Bii Nee Stipa II」が完成したと発表した。同施設はイタリアの電力大手エネルの再生可能エネルギー子会社、エネル・グリーン・パワー (EGP) が運営するもので、ガメサは定格出力 2MW の風力タービン 37 基を設置した。メキシコ湾から太平洋へ吹き抜ける風の通り道となるテワンテペック地峡では風力資源が豊富で、設備利用率は 40%に上るとされる。同施設の年間発電量は 250GWh (ギガワット時) 超が見込まれており、年間 10 万トンの二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) の排出削減効果が期待される。

ニュースリリース:

<http://www.gamesacorp.com/en/communication/news/gamesa-completes-a-74-mw-wind-farm-developed-and-constructed-to-enel-green-power-in-mexico.html?idCategoria=0&fechaDesde=&especifica=0&texto=&fechaHasta=>

(風力:デンマーク)

ベスタス、ベルギーの洋上風力発電所に 216MW の風力タービン供給

風力タービン世界最大手のデンマークのベスタスは6月28日、ベルギー北部ゼーブルッヘ (Zeebrugge) 沖合約 37 キロ地点に建設が予定されているノースウィンド洋上風力発電施設に、定格出力 3MW の風力タービン 72 基を供給すると発表した。契約には操業開始後 15 年間の保守サービスも含まれている。タービンの納入は 2013 年第 2 四半期に開始される予定で、2014 年第 2 四半期の操業開始を目指す。

ニュースリリース:

<http://www.vestas.com/en/media/news/news-2010/news-display.aspx?action=3&NewsID=3127>

<http://www.vestas.com/en/media/news/news-2010/news-display.aspx?action=3&NewsID=3126>

(再生可能エネルギー:EU)

EU の再生可能エネルギーの割合、2010 年は 12.4%

欧州連合(EU)の統計局ユーロスタットは6月18日、EU加盟27カ国の最終エネルギー消費量に占める再生可能エネルギーの割合が2010年に12.4%となり、前年から0.7ポイント伸びたと発表した。再生可能エネルギーの割合が最も高かったのはスウェーデンで全体の47.9%を占めた。次いで、ラトビア(32.6%)、フィンランド(32.2%)、オーストリア(30.1%)、ポルトガル(24.6%)が続いている。一方、最も低かったのは0.4%のマルタで、ルクセンブルク(2.8%)、英国(3.2%)、オランダ(3.8%)も低水準で推移している。EUでは2020年までに最終エネルギー消費量に占める再生可能エネルギーの割合を域内全体で20%に引き上げる目標を掲げている。

ニュースリリース:

[http://epp.eurostat.ec.europa.eu/cache/ITY\\_PUBLIC/8-18062012-AP/EN/8-18062012-AP-EN.PDF](http://epp.eurostat.ec.europa.eu/cache/ITY_PUBLIC/8-18062012-AP/EN/8-18062012-AP-EN.PDF)

(エネルギー効率化:ウクライナ)

NEDO、ウクライナと省エネ4案件を実施

独立行政法人の新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)は6月22日、ウクライナ環境投資庁(SEIA)と省エネルギー・プロジェクト4件を実施することで合意したと発表した。ウクライナに割り当てられた温室効果ガス排出権(AAU)のうち3,000万トンを日本に移転する排出量取引の際に交わしたグリーン投資スキームの一環。SEIAは、NEDOから取得したAAU売却資金を温室効果ガス排出削減プロジェクトに割り当てることで合意していた。今回、1)警察車両をハイブリッド自動車に入れ替える、2)クリミア半島南部黒海に面した国営の児童教育施設に太陽光発電施設および太陽熱温水施設を設置する、3)東部ホルリフカ市の熱供給会社のボイラー施設を刷新する、4)国内42カ所の学校や病院など公共施設に断熱措置を導入する、の4件の実施が決まった。

ニュースリリース:

[http://www.nedo.go.jp/news/press/AA5\\_100131.html](http://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_100131.html)

(エネルギー効率化: 英国)

経済大国のエネルギー効率化ランキング、英国が1位に

米国のエネルギー効率経済協議会(ACEEE)は7月13日、市場規模で上位12カ国・地域を対象としたエネルギー効率化ランキングで、英国が1位となったと発表した。僅差でドイツ、イタリア、日本が続いている。最下位となったのはロシア。また、カナダ、ブラジル、米国など米大陸諸国が下位争いをしている。同調査では、欧州連合(EU)も経済圏として評価対象とされたが、EU全体では6位だった。対象にはこのほかフランス、中国、オーストラリアが含まれており、これらの12カ国・地域を合わせると世界全体のエネルギー消費量の63%、温室効果ガスの排出量の62%を占めている。

ニュースリリース:

<http://aceee.org/press/2012/07/aceee-united-kingdom-tops-energy-eff>

(CCS: ノルウェー)

三菱重工、ノルウェーでCCS実証試験受注

三菱重工業は7月4日、ノルウェーの石油・ガス大手スタットオイルから、ノルウェー西海岸モングスタッド(Mongstad)製油所にある出力28万kWの熱電併給(CHP)ガス火力発電施設に併設する世界最大級の二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)回収・貯留(CCS)装置に関する実証試験を受注したと発表した。技術評価プログラム(TQP)の一環。CCS装置の基本設計の受注を目指し、技術、性能、コストを複数の候補企業と競う。回収能力は1日当たり3,400トン規模。三菱重工は今回、関西電力と共同開発した高性能吸収液を利用したCCS技術を用いた試験設備で、計3,000時間の長時間運転を行う。

ニュースリリース:

<http://www.mhi.co.jp/news/story/1207045229.html>

(政策: デンマーク)

2014年の欧州環境首都、コペンハーゲンに決定

欧州委員会は6月29日、2014年の欧風環境首都にデンマークの首都コペンハーゲン市を選出したと発表した。欧州環境首都は、気候保全、交通、都市の緑化、生物多様性など12項目の指標から、都市における生活や仕事環境が評価されるもので、毎年1都市が選出される。

2014年の欧州環境首都には18都市が応募し、最終選考にはコペンハーゲンの他、英国のブリistolとドイツのフランクフルトが残った。コペンハーゲンは、環境事業の革新と持続可能な雇用創出において、官民パートナーシップ(PPP)を重視しており、企業、大学、関連機関が共同で環境プロジェクトを推進している。また、2025年までに二酸化炭素のゼロ排出を目指し、通勤や通学時の自転車利用者の割合を2010年度実績の35%から、2015年までに50%に引き上げる目標を掲げている。これらの取り組みが他国の模範になると評価された。

ニュースリリース:

<http://europa.eu/rapid/pressReleasesAction.do?reference=IP/12/718&format=HTML&aged=0&language=EN&guiLanguage=en>

(政策:EU)

欧州委、スマートシティー支援を拡充

欧州委員会は7月10日、スマートシティーの実現に向けた複合的な革新技术開発を後押しするSCC(Smart Cities and Communities)パートナーシップを立ち上げ、スマートシティー実証プロジェクトへの支援を拡充すると発表した。来年のスマートシティー関連プロジェクトへの支援総額を3億6,500万ユーロとし、今年の8,100万ユーロの4倍以上に引き上げる。支援対象も、従来の交通とエネルギーに情報通信技術(ICT)を加えるほか、個別分野のプロジェクトへの支援を差し止め、この3分野を網羅する総合的なプロジェクトの支援に特化する。欧州委員会によるとEU域内人口の4分の3近くが都市部で生活しており、エネルギーの約70%が都市部で消費されている。

ニュースリリース:

<http://europa.eu/rapid/pressReleasesAction.do?reference=IP/12/760&format=HTML&aged=0&language=en&guiLanguage=en>

◆◆◆「EBS インサイトレポート」2011/12年版 好評発売中! ◆◆◆◆

◎「欧州の環境市場と環境規制 2011-12年版」(約150ページ) 2011年10月20日発売



サンプルページは画像をクリック!

風力発電など一部では 2010 年に減速感が表れたものの、欧州環境市場の長期的な成長トレンドに変わりはない。低炭素社会への移行に伴い、再生可能エネルギーを中心に息の長い市場拡大が続くと期待される。脱原発を決めたドイツは、従来以上に再生可能エネルギーの利用を促進する方針だ。本レポートは最新の統計データを中心に、欧州環境市場の動きをまとめると同時に、市場拡大の担い手である先進企業 100 社について、その戦略と最新動向を紹介する。

また、環境市場の動向に大きな影響を与えているのが規制の枠組みだ。2050 年までに低炭素経済を構築することを目指す EU の環境規制は、気候変動政策の枠組みだけでなく、今後の資源効率政策によって広範な産業に影響を及ぼす可能性が出てきた。企業にとって制約であると同時に成長のチャンスでもある EU の環境規制について、過去 1 年間の新たな規制と今後ウォッチしておきたい協議中の規制の最新動向を解説する。

## 主な内容

### 環境市場と先進企業 100 社 (約 90 ページ)

- 欧州の先進環境企業 100 社の戦略と最新動向
- 欧州環境市場規模の推移
- 太陽光発電市場の 2010 年実績と今後の成長見通し
- 風力発電市場の 2010 年実績と成長見通し
- 各国政府の支援制度の動向
- 分野別の成長予測

### 環境規制動向 (約 60 ページ)

- 2050 年の低炭素経済構築に向けたロードマップ
- 原料戦略と資源効率ロードマップの見通し
- エネルギー効率指令案の概要
- エコデザイン指令の動向
- EU 排出権取引の制度動向と炭素リーケージ
- 自動車（乗用車、バン、トラック）の CO2 排出規制と乗用車エコイノベーション規則
- スマートシティ／コミュニティの促進
- 過去 1 年間の主要規制の改正動向
  - WEEE・RoHS 指令、廃車指令、REACH、エネルギーラベル
- 留意したいその他の主要規制の今後の動向
  - F ガス規則の改正、エネルギーインフラ・プロジェクト支援に関わる規制、エネルギー税新指令 など

価格(PDF・全税別) :680 ポンド／780 ユーロ／89,000 円

サンプルページはこちら ⇒ [http://www.ebsukltd.com/report/pdf/sam\\_env2011.pdf](http://www.ebsukltd.com/report/pdf/sam_env2011.pdf)  
レポートのご購入はこちら ⇒ <http://www.ebsukltd.com/report/index.html#link4>

◎「欧州エコカーの市場と戦略 - 欧州自動車産業 2011-12 年版」(約 100 ページ)  
2011 年 10 月 3 日発売



画像は 2011-12 年版です。

サンプルページは画像をクリック！

欧州の自動車市場は大きな転換期を迎えている。ロシア市場や中東欧の一部を除けば規模の成長は頭打ちとなったものの、今や欧州から世界の今後の自動車産業を塗り替えるトレンドが生まれている。厳しい環境規制や様々な産業を巻き込む環境技術、激化する自動車各社の競争を背景にエコカーとエコカーを支える社会基盤が広がりを見せてきた。本レポートでは欧州のエコカー市場とそれを支える環境規制や基盤の最新動向をとらえ、欧州を舞台とした各社の戦略と市場の今後の見通しを明らかにする。また、欧州以外でも主要乗用車メーカーが世界各地で導入を予定しているエコカーをまとめた。さらに、ロシアを含めた欧州自動車の市場・業界全般の過去 1 年の動きについて、販売・生産統計や各社の展開を中心に網羅する。

#### 主な内容

- 欧州のエコカーと自動車市場をめぐる重要トレンド
- エコカー市場を支える EU の規制と環境政策
- 電気自動車はじめ欧州エコカー市場の現状と見通し
- 主要乗用車メーカーの欧州を中心とした展開とエコカー戦略
- 各社が世界で今後導入を予定しているエコカーの一覧
- メーカー別の欧州の乗用車・商用車販売統計
- ロシアの自動車販売動向と市場の見通し

価格(PDF・全税別) :480 ポンド／550 ユーロ／63,000 円

サンプルページはこちら ⇒ [http://www.ebsukltd.com/report/pdf/sam\\_auto2011.PDF](http://www.ebsukltd.com/report/pdf/sam_auto2011.PDF)  
レポートのご購入はこちら ⇒ <http://www.ebsukltd.com/report/index.html#link4>

◎「躍進するインドの産業 -インフラ・自動車・エネルギー」 (約 100 ページ)  
2011 年 8 月 1 日発売

力強い成長を続けるインド経済。本レポートは経済と投資環境に関するマクロ情報のみならず、自動車に加え再生可能エネルギー、鉄道、道路など注目を集めるインフラ産業の最新動向と見通しを解説。インドに進出済みの企業はもちろん、これから進出を目指す企業にとっても役に立つ情報を満載した。

#### 主な内容

- インドの経済・投資動向と日系企業の進出状況
- 日印 CEPA とインドの FTA の動向
- 成長のカギを握るインフラ整備の現状と主要セクターの動向、主要プロジェクト
- 自動車の販売市場、生産の現況と今後の見通し
- 自動車部品の販売動向と見通し
- 政府の自動車関連の政策
- インドにおける乗用車メーカー各社の最新動向
- 需要急増するエネルギー：エネルギー分野の状況
- 再生可能エネルギー分野（風力発電、太陽エネルギー）の現状と可能性
- 石炭・ガス火力発電の動向

価格(PDF・全税別) : 18,000 ルピー／250 ポンド／280 ユーロ／1,500AED／  
500 シンガポールドル／33,000 円(全税別)／410 米ドル

サンプルページはこちら ⇒ [http://www.ebsukltd.com/india/pdf/sample\\_india%20report%202011.pdf](http://www.ebsukltd.com/india/pdf/sample_india%20report%202011.pdf)  
レポートのご購入はこちら ⇒ <http://www.ebsukltd.com/india/index.html#a2>

◇◆当ニュースメール配信サービス希望者募集中！◆◇-----

- 当配信サービスは無料です。どなたでもホームページからご登録いただけます。
  - 配信頻度は基本的に毎月ですが、都合により不定期になることをあらかじめご了承ください。
  - 本サービスは弊社の都合により休止することがあります。
- ご登録はこちら⇒ <http://www.ebsukltd.com/newsletter/>

◇◆当サービスのご利用に当たって◆◇-----

- ★登録内容の変更や配信停止はお手数ですが下記からお願い致します。  
<http://www.ebsukltd.com/newsletter/>
- ★ニュースメールに関するお問い合わせ、その他ご利用に際してのご不明点は下記へご連絡下さい。  
[news@ebsukltd.com](mailto:news@ebsukltd.com)

---

発信元◇EBS(UK)Ltd.  
1 Heathcock Court, 415 Strand, London WC2R 0NT, UNITED KINGDOM  
ウェブ: <http://www.ebsukltd.com/> メール: [news@ebsukltd.com](mailto:news@ebsukltd.com)



---

Copyright(C) EBS(UK)Ltd. 2011 掲載記事の無断転載を禁じます。